



港区探訪



» パンクナンバー

港区なのに港区じゃない！？

境界線のひみつを大調査



第2回 お台場の不思議

住所は港区なのに施設名が他の区の地名だったり、敷地内に二つの区が混在していたり…。区と区の境界線のひみつに迫ります。



黒船を迎撃するために急きよ造られた7つの「台場」

東京湾に浮かぶ「お台場」は、ショッピングモールやアミューズメント施設が立ち並ぶおしゃれな街として、また、レインボーブリッジや都心のビル群を望む景観のよい観光名所として人気のあるエリアです。

しかし、江戸時代まで「お台場」はどこにも存在しませんでした。現在の「お台場」のある場所には海しかなかったのです。

「お台場」が「台場」として歴史に登場するのは、江戸時代末期のこと。1853年にペリー艦隊が4隻の黒船を率いて浦賀に来航します。

開国を迫られ、「太平の眠りを覚ます蒸気船 たった四杯で夜もねられず」と狂歌に詠まれるほど混乱をきたした江戸幕府は、具体的な対策を講じる必要がありました。

そこで、江戸の防衛を目的とし、江戸湾口に計12基の海上砲台（台場）の建設を始めます。巨額の費用をかけ、急ピッチで進められた砲台建築は、翌年の時点では第一～三、五、六の台場が完成、四の台場は7割完成、七の台場は埋め立てのみの状態でしたが、時はすでに日米和親条約が結ばれた後。江戸湾海戦は回避され、その後も防衛対策として利用されることはありませんでした。

この台場のあった場所が、後の「お台場」になっていくのです。

時を経て、第三台場と第六台場のみ東京の所有となり、国の史跡に指定。その後、第三台場は、埋立地造成によって陸続きになり、「台場公園」として整備、開放されています。

石垣と高い土手に囲まれた園内には、兵舎跡や火薬庫跡が残されていて往時をしのばせます。一方、第六台場は立ち入り禁止区域に指定され、現在も上陸できません。

そのため、自然のままの状態が保たれていて、植物や野鳥の宝庫として学術的にも重要視されています。



レインボーブリッジから見た第三台場。



台場公園にある砲台のレプリカ。



首都高速・国道357号の中心と都道482号が区の境界線です



全国に3つある「港区」の共通点とは？

日本には「港区」が3つあるのをご存知でしょうか。

東京都港区のほかに、愛知県名古屋市港区、大阪府大阪市港区があります。

東京都港区の発足は1947年ですが、最初に誕生したのは大阪の「港区」で1925年のこと。大阪港の中心地でしたが、現在は船の出入りは少なく、レジャー地区として観光客を集めています。

1937年に発足した愛知の「港区」は、名古屋市で唯一伊勢湾に面し、日本を代表する国際貿易港の一つ、名古屋港を有しています。

3区の共通点は海に接していること。いずれも重要な港町として発展してきた場所なのです。

台場を埋めるように造られた3区にまたがる「お台場」

さて、そんな歴史のある「お台場」は何区に属しているのでしょうか。

実は、港区台場と品川区東八潮、江東区青海の3区にまたがる地域なのです。元々は海上に点々と7つの台場があるのみでした。

明治に入ると7つの台場は陸軍の所管となります。必要性がなくなり、東京府芝区（現在の港区）の所属となります。

その後、埋め立てが進められ、第三、第六台場以外は消滅。13号埋立地として現在の形になっていきますが、完成当時の1979年にはいずれの区にも属していませんでした。

どの区の管轄になるのかという審議には、従来の行政区域線を海側に伸ばし、その線内の地区を行政の所轄とするというルールが用いられました。

さらに、交通上の接続も考慮に加えると、港区・品川区・江東区の3区に権限があり、いずれの区も譲らなかつたので、1982年の調停案によって分割されることになりました。

地名として港区台場が登場したのは1996年のこと。それまでは、港区港南の一部でした。

現在の「お台場」は、東京臨海副都心の一部として開発が進められていますが、樹木が茂る公園では野鳥が見られたり、釣りが楽しめたりと、自然豊かな場所でもあるのです。



ウエストパークブリッジに立って西を向くと、右側が港区、左側が江東区、奥が品川区です。

取材協力：東京埠頭株式会社 参考文献：『品川台場史考 幕末から現代まで』佐藤正夫著／理工学社、『写された港区二』東京都港区立みなと図書館



「太平の…」の狂歌は「蒸気船」と「上喜撰（上等なお茶）」をかけています。黒船が4隻来てただけで（お茶を4杯飲んだだけで）疲れなくなった、幕府も含めた日本の大混乱ぶりを風刺したものです。

[▲このページのトップへ](#)

| サイトマップ | みんなの声 | Kissポート財団について | 情報誌「Kissポート」について | 品質・環境への取り組み | 個人情報保護について[PDF] |

Kissポート財団 

(公益財団法人港区スポーツふれあい文化健康財団)

港区赤坂4-18-13赤坂コミュニティーぶらざ

電話：03-5770-6837/Fax：03-5770-6884 お問い合わせ：fureai-info@kissport.or.jp



このホームページはKissポート財団の公式ホームページです。このホームページのすべての権利は当財団に帰属します。当財団の許可なく複製、転載は出来ません。